

# FASB/IASB合同保険プロジェクトは、結論に至るか？



William Hines  
FSA, MAAA

Henny Verheugen  
AAG

保険契約に対する会計基準のエクスポージャードラフトは、2010年6月に公表が予定されています。保険契約に対する新たな対処方法を探るために費やした13年が終わりに近づいているということでしょうか？Yesであり、Noでもあります。保険会計についてのエクスポージャードラフトがこの夏には公表されそうです。しかし、会計モデルを構築するカギとなる要素に関するFASBとIASB間の合意が欠けていることを考えると、その収斂は遅れるかもしれません。私たちの予想では、最も起こりうる2つシナリオとして、1) 各審議会の視点に基づく合同エクスポージャードラフトを両審議会が公表する、または、2) IASBの見解に基づいてIASBがエクスポージャードラフトを公表し、FASBがU.S. GAAP保険会計への変更をコミットせずにエクスポージャードラフトへのコメントを求めるといったものが考えられます。

## 保険契約基準の対象

両審議会は、現行の国際財務報告基準（International Financial Reporting Standard, IFRS）4に含まれる保険リスクの定義が新しい基準においても引き続き使用されることについて合意しました。これは、現在価値ベースで評価される重大な保険リスクによるものです。しかし、両審議会は、保険リスクの重要性をどのように評価すべきかに関しては合意していません。IASBは、発生しうる結果の範囲に基づいて重要性を評価することを提案しています。FASBは、支出項目の現在価値が保険料の現在価値を超過する結果のみを考慮することを提案しています。そのためFASBは、保険会社が損失をこうむる可能性のある保険契約のみを保険として考慮する見込みです。エクスポージャードラフトの公表に先駆けて両審議会がどのように本件に合意するつもりなのか、また合意するつもりがあるのかはわかりません。

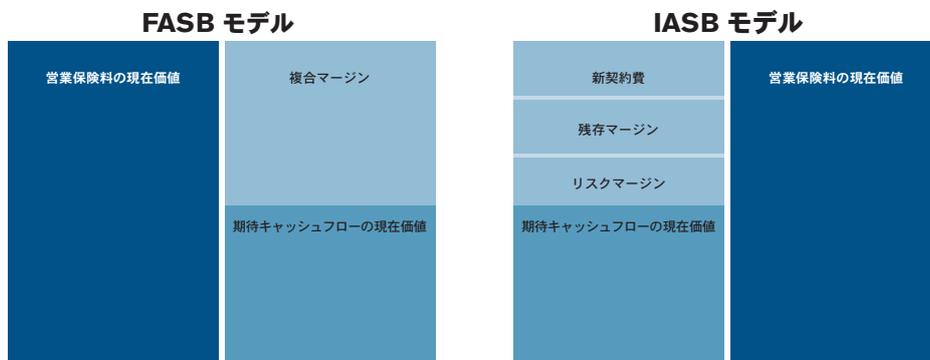
## 検討中のモデル

両審議会が検討しているモデルは、本質的に2つあります。つまり、IASBが嗜好するものと、FASBが嗜好するものです。

IASBが嗜好するモデルは、権利と義務のネットを、1) 将来の期待キャッシュフローをリスクフリーレートに流動性プレミアムを足したもので割り引いた現在価値に、2) 予測されたキャッシュフローに内在する不確実性に対するリスクマージンを足し、3) 契約開始時に利益が発生しないよう、課された保険料から新契約費を積み上げた金額を控除したのに対してキャリブレーションした残存マージンを足したものと評価します。このモデルは、現行のU.S. GAAPよりも当初負債が高くなりそうです。その理由のうち2つとして、1) IASBモデルの方が低い割引率を使用していること、そして、2) 新契約費の定義が現在U.S. GAAPにおいて使用されているものよりも限定的になりそうであることです。マージンは、バランスシートの報告では保険契約負債に含まれる予定ですが、残存マージンは個別に開示される予定です。予測されたキャッシュフロー、割引率、リ

スクマージンは、評価日ごとにアップデートされる予定です。一方、残存マージンは、契約時に固定され保障期間にわたって定期的に償却される見込みです。

FASBが嗜好するモデルは、権利と義務のネットを、1) 将来の期待キャッシュフローをリスクフリーレートに流動性プレミアムを足したもので割り引いた現在価値に、2) 新契約費に対する調整なしに課された保険料に対してキャリブレーションした単一マージンを足したものと評価します。このキャリブレーションの手法では、契約時利益を回避するどころか、契約時に新契約費と同額の損失を強要します。複合マージンは、新契約費の全回収見込み額を負債として計上します。したがって、FASBのアプローチが求めるマージンは、IASBアプローチのものに比べて大幅に大きくなり、法定会計で求められる負債を超える負債になりえるのです。残存マージンについても、複合マージンが保険負債に含まれ、個別に開示される予定です。しかし、IASBモデルにおけるマージンとは異なり、FASBモデルは複合マージンに対する金利を増大させないでしょう。



どちらのモデルも将来のキャッシュフローの見込みに確率による加重を反映しており、負債に対する最低積立金を求めません。また、どちらの場合も「自社の」信用リスクの変化による影響は反映しません。

## マージンが意味するものは？

複数のオブザーバーが、残存マージンおよび複合マージンの一部が保有契約に対する期待利益であるエンベディッド・バリューの代わりになると述べています。残存マージンまたは複合マージンを個別に開示するという要件により、複数のオブザーバーが財務報告の利用者が保険会社の期待収益性をよりよく理解できるようになると感じています。これは、1) これらのマージンは契約後再評価されることがなく、また、2) これらは経済利益がどのように発生する見込みであるかとの類似性がない規則的な方法で償却されるため、現実にはなりそうもありません。元になるベストエスティメートの負債およびリスクマージンは、評価日ごとにアップデートされます。これは、商品の期待収益性に直接影響するでしょう。残存マージンと複合マージンには影響しないものの、期待残存利益との関係がなくなり

ます。どちらの-marginも保障期間または保障および給付期間にわたり何らかの規則的な方法で償却されます。前提条件として、予定給付金や予定保険金が時間の経過とともに均等に発生しない限り、marginは時間の経過とともに比例的に償却されるというものです。この場合、予定保険金・給付金に比例してmarginは償却されるでしょう。多くの保険商品は、予定保険金・給付金に基づいて課された利益（例えば、金利margin、アカウントバリューベースのチャージ、契約単位の費用付加）以外の利益源に依存しています。そのため、marginの償却は、実際の商品の利益のタイミングとは同期しないのです。

#### 何を指しているのか？

エクスポージャードラフトが公表されるまで1ヶ月となりましたが、複数の重要事項に関する両審議会の顕著な意見の相違点およびその他複数の主要事項が十分に審議されていません（例えば、表示方法、有配当契約、アンバンドリング）。合同見解に到達できると考えるためのストレッチと思われず。IASBは、保険に対する全面的な会計基準を必要とするため、IASBの見解を示すエクスポージャードラフトに向けて進めたいと考えているでしょう。FASBの場合、すでに保険契約に対する基準があるため、同じ緊急性はありません。FASBは、エクスポージャードラフトに参画するか、あるいは保険会計の変更をまたの機会に遅らせるかどうかを判断する必要があります。いずれにしても、この夏にはエクスポージャードラフトが公表されることは確実と思われず。

The materials in this document represent the opinion of the authors and are not representative of the views of Milliman, Inc. Milliman does not certify the information, nor does it guarantee the accuracy and completeness of such information. Use of such information is voluntary and should not be relied upon unless an independent review of its accuracy and completeness has been performed. Materials may not be reproduced without the express consent of Milliman.

Copyright © 2010 Milliman, Inc.